



Okinawa To 沖縄

Uchinanchu Business

故郷沖縄を遠く離れ、原始林を伐採し、農地  
を作り、種を蒔き作物を実らせた。  
手を休めると開拓者の想いは故郷に還った。





67年の歳月が過ぎ、森林は大豆、小麦畑に変貌し、ボリビア有数の穀倉地帯に発展した。





そして・・・開墾されたウチナーンチュの  
農場から故郷に、移住者の想いが届いた。





たった20トン。  
しかし、先駆けの20トンになるはずだ。



ウチナーンチュによるウチナーへの輸出...  
俺たちにしかできないプロジェクト。



# 『Okinawa To 沖縄』は先駆者達の想いと ウチナンチュを結ぶプロジェクト。





# Okinawa To 沖縄 とは？

## Misión

### 社会的意義を持つ

ボリビアのウチナーンチュが生産した大豆や小麦などの「産品」を沖縄や世界のマーケットに輸出していくことで、ウチナーンチュによるオキナワ移住地と沖縄県の経済活性化、そしてビジネスを通じた人材育成を目指す。

将来的には世界のウチナーンチュへと拡大させていく。



# Okinawa To 沖縄

## Visión

### 目指す姿

1. 母県との経済交流によって、ボリビア、そして世界のウチナーンチュと沖縄県の経済交流に寄与する。
2. 沖縄企業の海外進出及び製品・技術の普及に協力し、母県の経済活性化に寄与する。
3. ウチナーンチュ・ビジネスの新たな展開を創作し、持続可能なビジネスを開発する。
4. 新規事業の展開によって新たな人材を育成する。



## 事例

オキナワから沖縄県へ牛の飼料として大豆20トンを輸出

▷ 今年1月末、ボリビアの県系人移住地「コロニア・オキナワ」から牛の飼料用として、Ishima.SRL社を介して、CAICOから約20t/回の全脂大豆が石垣島で石垣牛などを生産・販売する農業生産法人ゆいまーる牧場（石垣市、金城会長）に直輸出。

▷ チリで船積み・出港し、台湾経由で石垣港に到着。

▷ 本取り組みにより、輸入コストを40%削減。

▷ 定期輸入により、石垣の農家を巻き込む意向。



# 沖縄県内、日本国内でも注目されています。

テレビ（沖縄NHK, OTV, QAB, RBC）

新聞（沖縄タイムス、琉球新報など）





# 沖縄県の玉城デニー県知事に報告文章発信

ボリビア沖縄県人会、  
オキナワ日本ボリビア協  
会、CAICO組合連名で  
3月1日に沖縄県の玉城  
デニー知事に報告。

2021年3月1日

沖縄県知事  
玉城デニー殿

ボリビア沖縄県人会 会長 比嘉徹  
オキナワ日本ボリビア協会 会長 中村侑史  
コロニア沖縄農牧総合協同組合 組合長 具志堅正

## 「オキナワから沖縄へ」初の全脂大豆輸出

みだしの件につきまして、この度、当地オキナワ移住地で生産された全脂大豆 20トンが CAICO(コロニア沖縄農牧総合協同組合)を通して初めて母県沖縄に輸出される運びとなり、全移住者を代表して感謝と喜びをもってご報告申し上げます。

私たち沖縄からの移住者は 1954 年以降琉球政府計画移民として送出され、幾多の苦難を経てボリビアの大地にしっかりと根を下ろし、屈指の農業生産地を築き上げてきました。この間、琉球政府を含めて沖縄県及び県民の皆様から物心両面の数々の支援を受けながら故郷の文化を継承し 67 年の歴史を刻んで参りました。そして、母県との絆は、今回の移住者の生産物が故郷に輸出されることにより、文化交流だけでなく、待ち望んでいた経済交流という新たな展望も開かれようとしています。

この度の輸出は、1月28日にオキナワ移住地 CAICO 工場にて積み込まれ、2月8日にチリのイキケ港より那覇港に向けて出港し、那覇港到着予定は3月16日です。那覇で通関されたコンテナは石垣港まで運ばれ「ゆいまー牧場」に納品され、石垣牛の飼料として使用されます。これを契機にオキナワと沖縄を結ぶ継続的なビジネスに発展することが期待されます。

初めての試みである、この小さなプロジェクト「オキナワから沖縄へ」は、オキナワだけでなく沖縄にとっても大きな意義と可能性を秘めています。ボリビア発のこのプロジェクトがボリビアばかりか世界の各地から沖縄へ、そして沖縄から世界へと発展して沖縄世界ネットワークを形成するという夢のあるプロジェクトだからです。また、今回のプロジェクトには、故郷に帰ることも叶わず、ボリビアの地に眠れる先輩移住者の方々の願いが作物となって里帰りするという想いも込められています。どうか、この移住者たちの作物を故郷の皆様にも温かく迎えて頂きますよう、よろしく願い申し上げます。

最後に、来年開催される「世界ウチナーンチュ大会」には私たちオキナワからも多数が参加し、世界各地から集まる同胞とウチナーンチュとしての絆を深め、大会が成功を取られることを心から願ってご報告とさせていただきます。

以上

ボリビア沖縄県人会

オキナワ日本ボリビア協会



会長 比嘉 徹



会長 中村 侑史

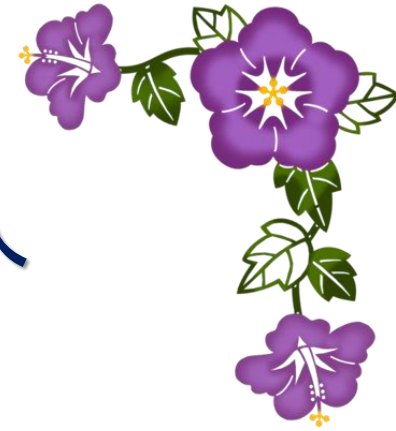
コロニア沖縄農牧総合協同組合



組合長 具志堅 正



## 今後について



1. CAICO組合、オキナワ日ボ協会、県人会、JICA、関係者で話し合い、プロジェクトチームを編成し、プロジェクト始動に向けて本格的に進めて行く。
2. 7月にオキナワ移住地と沖縄県をつないで、プロジェクト推進のためのセミナーを開催する。